

大牟田市立天の原小学校

1 本校のESDの特徴

本校区は、大牟田市の南端の内陸部にあり、校区の南部に野間川が流れ、北部には高取山が、また、国指定の装飾古墳もあり、自然環境や文化的遺産に恵まれている。

さらに、特別支援学校に近いこともあり、3・4・5年生が特別支援学校の小学部と交流活動を行っている。

校区の方々は学校にとっても協力的であり、見守り隊の方々による毎朝の登校班の見守り活動や、ボランティアによる絵本の読み聞かせ会、地区公民館主催による夏の「大蛇山祭り」、秋の連協「福祉のつどい」、冬のPTA「もちつき大会」と人と交わる機会も多い。

そのような環境の中、環境教育と福祉教育を中心に据えて、ESDを推進している。さらに、昨年度より海洋教育推進校となり、同推進校である天領小学校、みなと小学校とともに東京大学海洋アライアンスの指導のもと、研究に取り組んでいる。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

【低学年】

1年生 「学校と友だち」 (生活科)

2年生 「みんな生きている」 (生活科)

〈低学年の重点目標〉

○自然に直接触れる体験活動を重視し、豊かな感性を育てる。

○動物をかわいがり、飼ったり育てたりして、思いやりの心を育てる。

【中学年】

3年生 「学校に飛んでくる鳥を観察しよう」 (総合/環境)

「海辺の生物とふれ合おう」 (総合/環境/海洋)

「川の生物をかってみよう」 (総合/環境/海洋)

「ふれあい遊び交流～特別支援学校との交流～」 (総合/福祉)

4年生 「リサイクルの仕組みを調べよう」 (社会・総合/環境)

「七夕飾り・七夕交流をしよう～特別支援学校との交流～」 (総合/福祉)

「大牟田の文化遺産について調べよう」 (総合/国際・郷土)

「有明海清掃活動」「三池港を調べよう」 (総合/環境/海洋)

〈中学年の重点目標〉

○動植物を愛情を持って育て、生命あるものを大切にする心を育てる。

○水や電気などのエネルギー資源を大切に、身近な環境を汚さない態度を育てる。

【高学年】

5年生 「なかよし交流～特別支援学校との交流～」 (総合/福祉)

「野間川環境探検隊」 (総合/環境/海洋)

「有明海汽水域を観察しよう」 (総合/環境/海洋)

6年生 「世界の環境について考えよう」 (総合/環境)

「大牟田の環境問題について考えよう」 (総合/環境/海洋)

「海洋教育3校合同こどもフォーラムにむけて」 (総合/環境/海洋)

「大牟田の世界遺産について調べよう」 (総合/国際・郷土)

〈高学年の重点目標〉

○一人一人が環境と深い関わりがあることを知り、身近な環境を大切にする心を育てる。

○学校や地域の環境に、積極的に働きかける態度を育てる。

3 特徴的な活動事例

< (事例1) 4年生 総合的な学習の時間 >

(1) 単元名 「七夕飾り・七夕交流をしよう～特別支援学校との交流～」

(2) 目 標

- 特別支援学校の友達と交流することにより、相互の理解を深め、ふれ合うことの喜びを知る。
- 交流したことについて感想をまとめ、手紙を送るなどして、さらに交流を深めることができる。

(3) 実際の展開

【課題設定】

- ①5年生の交流体験を聞き、単元学習の見通しをもつとともに、3年生での交流を振り返り、興味・関心をもつ。

【課題追求】

- ②特別支援学校の友達の立場に立って、七夕飾りづくりの準備をする。
- ③特別支援学校へ出向き、一緒に七夕飾りを作る。
- ④作った飾りを笹竹に飾り、皆で七夕交流会を楽しむ。

【振り返り・発信】

- ⑤交流の感想をまとめ、手紙に書いて特別支援学校に送る。



七夕飾りづくりの様子



七夕交流会の様子

< (事例2) 6年生 総合的な学習の時間 >

(1) 単元名 「大牟田の環境問題について考えよう」

(2) 目 標

- 環境問題について調べる活動を通して、身近な環境を大切にすることを育てる。
- 学校や地域の環境に、積極的に働きかける態度を育てる。

(3) 実際の展開

【課題設定】

- ①世界の環境問題から課題意識をもち、学習計画を立てる。

【課題追求】

- ②地球温暖化が大牟田に及ぼす影響を調べる。
- ③調べた結果をまとめ、自分たちにできることを話し合う。

【振り返り・発信】

- ④調べたことをまとめ、交流したり発信したりする。



温暖化に関する講話



子どもフォーラムでの発信

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・特別支援学校との交流では、3・4・5年生での実施と継続して交流を行うことで、次第に親しみが増し、相手の立場に立った思いやりのある言動が多数見られるようになった。
- ・子どもたち一人一人が環境との深い関わりを自覚して、身近な環境を守るために各々や学年でできる具体的な解決策を話し合い、行動に移すことができた。

○課題

- ・交流で学んだ思いやりを学年・学級で日常化する心と態度の育成。
- ・デルタ型海洋教育推進校としての単元の開発や拡大。